



# 金井中だより



〒952-1208 新潟県佐渡市金井新保乙40番地 TEL 0259-63-4107  
E-mail kanai-js@sado.ed.jp http://kanai-js.sado.ed.jp/

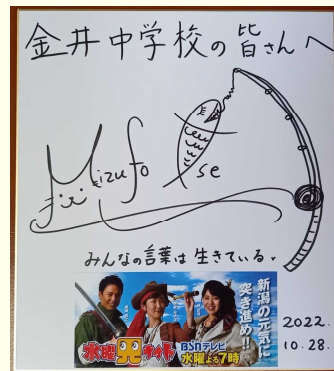
## みんなの言葉は生きている

校長 香遠 正浩

先週金曜日の金井地区青少年健全育成協議会主催「家庭教育学級」では、道徳の授業参観と講演会にお越しくださり、ありがとうございました。

講師のフリーアナウンサーの伊勢みずほ様からは「みんなの言葉は生きている」という演題で次のようなお話を聞かせていただきました。

- 将来の夢を人に話すと夢に一步近付く。力になってくれる人が現れる。やりたいことがあったら言葉で表現するといい。
  - 普段何気なく使っている言葉は時として誰かを傷付けてしまい、その人の人生を変えてしまうくらいの力がある。使い方を間違えると大変なことになる。相手への思いやりをもって、どんな言葉を使ったらよいか考えながら話をしてほしい。
  - いじめを受けると辛くて苦しくて人に言いづらい。でも、ちゃんと辛い気持ちを伝えて、周りの人の力を借りて乗り越えてほしい。何でも一人で解決しようと思うのではなく、辛いこと、不安なこと、悲しいこと、怖いことも言葉で表現して周りの人に伝え、一緒に乗り越えて行くこと、それが大人になるっていうこと。そういうコミュニケーション、仲間作り、人間関係づくりを頑張してほしい。
- SOSを出すのは勇気はあるけど必ず応援団が現れる。だから、何かあったときは誰でもいい、相談すればいい。みんなで力を出し合って乗り越えてほしい。
- ◎ みんなの言葉を大切に、どんなふうに話せばいいか考えながら使っていってほしい。



このお話は子どもたちの心にも響きました。以下は3年生男子の感想です。

言葉は生きているということ、薬にも凶器にもなるということを知りました。自分がこれから成長して社会に出ることで、初対面の人とも話す機会が多くなってくるので、正しい言葉、相手を傷付けない言葉を意識して使いたいと思いました。

また、今日の講演で感じたことは、講師の話し方がとても上手だということです。話のつかみから観客を引き込み、飽きさせないように具体例やミニゲームを入れたりする話し方はすごいなと感じました。自分もあんなふうに話せるようになりたいと思いました。

講話の内容だけでなく、話し方についても学んだようです。子どもたちは、今回の講演会で感じ取ったことを今後の生活に活かしてくれることでしょう。

# 学び合つて思考力を高める授業②

金井中では、思考力や表現力の育成を重視し、「主体的・対話的で深い学びの実現」を目指して校内研修を行っています。2学期前半の授業の概要を紹介します。

## 荒木教諭 1 A 技術「のこぎり引き」(9月14日)

のこぎりで板を真っ直ぐスムーズに切る技能を習得する時間でした。生徒はのこぎり引きの自分の課題を明らかにし、教師自作の支援動画を参考にしたり、ペアで役割を交代したりしながら助言し合い、協力し合つて切りました。生徒は「力を抜いてのこぎりを使うとスムーズに行く」「力の入れ方、刃の使い方、支えることが大切」などとコツもつかめました。



## 山崎教諭 2 B 国語「敬語」(9月28日)

生徒は前時に教科書を用いて敬語を学習しています。その理解を基に、この時間は場面に合わせて敬語を正しく使えるよう、各班で場面を考えて敬語で文章を作りました。ある班は、校外学習場面を想定し、「この食べ物は何でしょうか(丁寧語)」「作り方を教えていただけませんか(謙譲語)」という敬語文を作つて発表しました。



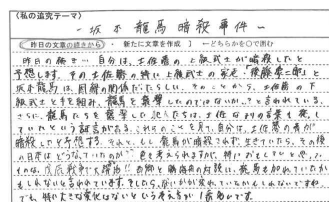
## 宮野教諭 2 A 学級活動「クラス合唱をより良くしよう！」(10月7日)

実行委員からの提案理由の説明を受け、まずは合唱練習の現状を振り返つたところ「声」が課題となりました。そこで、その改善策を各班で話し合い、発表しました。そして学級全体として「恥ずかしい気持ちを捨てる」「楽しむ」「発声練習をする」の3つに絞りました。4名の議長団により問題の発見と共有から始まり、解決に向けて話し合う生徒主体の学級活動でした。



## 大木戸教諭 2 B 社会「日本の開国から江戸幕府の滅亡へ」(10月12日)

「坂本龍馬暗殺事件」について深く調べていたYさんは、班員から「いろいろな説があるけど、それぞれの動機を調べてみてはどうか」と助言を受け、さらに調べてまとめました。その結果、「自分の意見を分かりやすくまとめていてすごいと思った。土佐なまりの情報は初めて聞いたから面白いと思った」という感想をもらいました。



## 高塚教諭 3 A 数学「身の回りの関数」(10月19日)

①自動車の制動距離、②振り子の周期、③タイルの総数のいずれかの問題を与えられた生徒は、同じ問題に取り組む者同士で解き方を教え合いました。その後、最初の班に戻り、班員に説明しました。そして、どの問題も2つの数量の関係から未知の値を予測するには、 $y$ を $x$ の式で表し、分かっている数値を式に代入すればよいとまとめられることが分かりました。



## 中川教諭 3 A 社会「民主政治と日本の政治」(10月25日)

自分が望む日本社会の将来像を描かせた上で、前回の衆議院議員選挙で実際に出された各候補者の公約を活用し、どの政策が優れているか選ばせました。そして、グループで質疑応答を行い、多様な意見を聞き、考えを広げました。こうして、生徒は公約や他者の意見を参考に、根拠をもって自分の支持する候補者を決め、模擬選挙で1票を投じました。



# 感動のふれ愛発表会

15日のふれ愛発表会は、新型コロナウイルスの感染防止への配慮として、生徒の家族限定の鑑賞、バザーの中止、隣との距離を取っての合唱等の対策を講じて開催しました。そのような中でも、生徒たちは作品制作や合唱練習等を通して、それぞれが大きく成長し、学級の団結力を高めました。特に本番での3年生の合唱は、完成度が高く、来場者に大きな感動を与えました。

1階廊下に掲示されている生徒会本部の振り返りと生徒3名の感想を紹介します。

## ふれ愛発表会生徒会振り返りアンケート結果について

～生徒会本部から全校生徒へのメッセージ（抜粋）～

今年度の柱である「生徒自らが考えつくり上げる」を基に、ふれ愛発表会に向けて準備、運営を進め、本番を迎えました。その結果アンケートでは、全ての項目で、90%以上の生徒が肯定的評価をしています。

多くの人たちが「自分たちで考えつくり上げることでできたふれ愛発表会」になったと考えています。全校生徒がいい準備をし、本番に臨んだからこそその結果だと思います。準備期間が短い中、全力でふれ愛発表会をつくり上げようとする姿、最後まで自分たちの合唱を届けようとする姿、本当に感動しました。

これからも、日々の生活でクラスや学年の仲間と向き合い、絆を深め、自分と向き合い、お互いを高め合うことを心掛け、「生徒自らが考えつくり上げる」より良い金井中学校にしていきましょう。

## トキのように羽ばたく

ふれ愛発表会実行委員長 高野 絆

今年も新型コロナウイルスの影響で半日開催となってしまいましたが、ふれ愛発表会を無事に終えることができ、実行委員長として本当にホッとしています。

今年のふれ愛発表会のスローガンは「佐渡一の歌声いつトキますか！」でした。当日は、トキのように佐渡に羽ばたく美しい合唱や吹奏楽部の演奏、一所懸命に作り上げた作品から私たちK中生のエネルギーを見に来てくださった方々にしっかり届けることができましたと思います。全校の皆さん、今までの合唱練習、作品制作など、本当にお疲れさまでした。



最後になりますが、お忙しい中、ふれ愛発表会においでくださった保護者の皆様、ありがとうございました。コロナ禍のため参観できなかった方もいらっしゃると思いますが、これからもK中生の羽ばたいていく姿を地域へ届けていきますので、応援をよろしく願いいたします。

## 3年間頑張った合唱コンクール実行委員

合唱コンクール実行委員長 計良 成美

私は中学校3年間、合唱コンクール実行委員でした。1年生の時は、自分にクラスをまとめることができるのかなど不安なことがありました。実際仕事をやってみると、やっぱりうまくいくことばかりではありませんでしたが、その中でも多くのやりがいや感動を感じることができました。

今年、実行委員長になってみて、例年に比べるととても仕事の量が増えたり、覚えることも増えたりと、正直大変なことも多かったです。ですが、何人もの友達から「推薦したよ」「頑張ってるね」など多くの声をもらい、最後まで頑張ろうと前向きな気持ちになれました。

3年間、実行委員をやってきて良かったと思うことは、クラスの成長を間近で感じる事が出来たことです。大変なこともあったけど、最後はやって良かったと感じることができたので良かったです。

### <審査結果>

最優秀賞：3年B組「生きている証」

優秀賞：3年A組「ほらね、」

優良賞：2年A組「瑠璃色の地球」

## うちにしかできない合唱 ～満場一致の最優秀賞～

合唱コンクール実行委員 3年B組 川上 涼平

“絶対最優秀賞を取る” クラス全体でそう決めて合唱練習がスタートしました。練習を始めて僕は少し焦っていました。本番まで2週間しかないにも関わらず、自分を含め歌詞や入るタイミング、音程を間違えてしまうことが多かったからです。サビの前では、なかなか思うように盛り上がらなかったり、女声と男声のバランスが悪かったりして満足いく合唱ではありませんでした。しかし、練習を重ねていくうちに、みんなの「勝ちたい」という気持ちが強くなり、クラス全体でのまとまりが歌にも表れるようになりました。合唱コンクール当日、今までで一番良い歌を発表できました。何より楽しみながら歌うことができました。練習から積極的に意見を出し合い、聴く人に感動を与えられるように努力した結果が最優秀賞という形で表れて、聴いた人にも「感動した」と言ってもらえ、みんなで努力してきた本当に良かったと感じました。このメンバーで最高の合唱をつくれたことに感謝しています。3Bしか勝たん！！



“絶対最優秀賞を取る” クラス全体でそう決めて合唱練習がスタートしました。練習を始めて僕は少し焦っていました。本番まで2週間しかないにも関わらず、自分を含め歌詞や入るタイミング、音程を間違えてしまうことが多かったからです。サビの前では、なかなか思うように盛り上がらなかったり、女声と男声のバランスが悪かったりして満足いく合唱ではありませんでした。しかし、練習を重ねていくうちに、みんなの「勝ちたい」という気持ちが強くなり、クラス全体でのまとまりが歌にも表れるようになりました。合唱コンクール当日、今までで一番良い歌を発表できました。何より楽しみながら歌うことができました。練習から積極的に意見を出し合い、聴く人に感動を与えられるように努力した結果が最優秀賞という形で表れて、聴いた人にも「感動した」と言ってもらえ、みんなで努力してきた本当に良かったと感じました。このメンバーで最高の合唱をつくれたことに感謝しています。3Bしか勝たん！！

### ~~~~~生徒の活躍の記録~~~~~

○佐渡市新人野球大会 (10/1, 2) 3位 金井中学校

○第19回佐渡市美術展覧会 (10/8)

- <ジュニアの部 書道部門>
- ・市長賞 2年：渡邊 花観
  - ・教育長賞 2年：渡部 雛